

三菱総合研究所編

三菱社誌

総索引

明治三年～昭和二十七年

東京大学出版会

三菱社誌 総索引

昭和五十七年六月二十五日 初刷

編纂 株式会社 三菱総合研究所

代表者／高雄 靖

発行 財団法人 東京大学出版会

代表者／江村 稔

東京都文京区本郷七丁目三番一号

電話／東京八一―八八一四

振替／東京六一五九九六四

印刷 株式会社 平文社

製本 牧製本印刷株式会社

用紙 三菱製紙株式会社

クロス 東洋クロス株式会社

は し が き

本書は、さきに三菱社誌刊行会によって公開された三菱社誌全40巻の索引である。三菱社誌の原本は、旧三菱合資会社および三菱本社において作成されていた全36巻、20,104頁におよぶ業務記録であり、明治3年（1870年）の創業時から、昭和27年（1952年）の旧本社清算終了にいたるまでの82年間にわたる会社の重要記録を年月日順に編集した資料集である。この社誌の編纂事業は明治42年（1909年）に開始され、最終的には昭和32年（1957年）に終了した。したがって編纂事業そのものが半世紀に及ぶ大事業であった。

三菱社誌は、明治以来第二次世界大戦終了時にいたるまでの日本の経済発展と工業化において重要な役割を果たした三菱の事業を、当事者が一定の方針にしたがって記録したものである。一企業体の全事業に関するこのような記録集としては、日本はもとより諸外国においても、質量ともに類をみない稀有の文書であるという過言ではない。この記録集は、編纂事業が完了した昭和30年代直後からその存在が知られるようになったが、昭和53年の公開以降、国内外の研究者の関心を集め、日本経済と企業経営の発展史の研究のための第一級の根本資料として広く受入れられている。

この三菱社誌の事項索引は、創業期の明治3年から明治26年までの期間については、古く大正8年に作成・印刷されていたが、明治27年以降の分は戦前に作業未完のまゝ中断されていた。今回の公開を機に、私共は全巻にわたる総合索引を、新しい観点にたって作成した。索引作成の方針、内容については、凡例に詳しくのべられているので参照されたい。作業は三菱総合研究所情報管理部資料課において、昭和55年秋に開始され同57年3月に完了した。担当者は宮川隆泰、村竹徹勇、今居政子の3名であった。また東京大学出版会武井政芳氏には作業に関し多大のご助力とご配慮を賜った。

本索引が三菱社誌にたいする各方面の関心を一層高め、三菱事業の発展史にたいする研究に幾分でも資することがあれば幸いである。

昭和 57 年（1982年） 6 月

株式会社三菱総合研究所

取締役社長 高 雄 靖

凡 例

1. 本書は、三菱合資会社総務部および三菱本社社誌編纂委員会編「三菱社誌」、全40巻（明治3年～昭和27年）の索引である。
2. 社誌索引は、はじめ大正8年に、創業の明治3年から明治26年までの期間について、当時の三菱合資会社総務部総務課によって作成され、三菱合資会社内に配布使用されていた。明治26年以前の社誌には事項別目次がなかったので、この旧索引は有用であった。この旧索引は、東大版社誌第一巻の巻頭に、そのまま複製掲載されている。旧索引の分類はつぎのとおりであった。
 1. 商号 2. 制度 3. 規則 4. 通達 5. 稟申 6. 官命 7. 上申 8. 人事 9. 内事
 10. 船舶 11. 航路 12. 廻漕 13. 鉱山 14. 炭坑 15. 金圓 16. 工事 17. 企業 18. 学校
 19. 契約 20. 訴訟 21. 寄附 22. 慶弔 23. 罹災 24. 給与 25. 地所建物 26. 雑
 27. 歳末雑載
3. これにたいして、三菱合資会社が設立された明治27年から、昭和13年の株式会社三菱社の設立、昭和21年の本社解散をへて、昭和27年の三菱本社清算終了に至るまでの58年間については、索引がなかった。そこで東大出版会からの社誌公刊を機会に、三菱総合研究所情報管理部資料課においてあたらしくこの期間中の索引を作成し、これに大正年間に作成された旧索引を組みこみ、明治3年から昭和27年までの82年間の総合索引を編成した。
4. 本索引が対象としたのは東大版三菱社誌であり、各事項の記載個所を示す巻号は、東大版の巻号とページである。索引作成の基準となった分類（大分類、中分類および小分類）は後掲目次のとおりである。
5. 本書は、社誌に掲載されている記事の標題そのものを、一定の分類基準にしたがって排列したものであり、たんなる件名索引ではない。もともと大正年間に編集された旧索引そのものが、記事標題索引の形をとっており、これが事項別目次として利用されていた。この方式は明治27年以降の各巻においても引きつがれ、各巻巻頭に記事標題が年月日順に排列され目次として用いられていた。今回の索引作成にあたっては、この目次部分を対象として分類を行なった。

したがって本索引は、別掲のような分類基準によって編成された記事標題を、年月日別に排列したものである。
6. 分類基準は、創業以来の三菱の全事業に関する多面的な記述を検索しうよう、独自に作成した。すなわち、経営者、経営方針、組織、規則、財務会計、生産、営業、海外事業、研究開発などの事業経営の基本的事項を中心として、これらに関連のある諸事項を30の大分類項目とした。中分類と小分類のたて方は、大分類項目の内容により異なっている。すなわち、大分類項目をさらに階層的に細分化した事項分類になっている場合（人事労務、鉱区など）、組織別（部別、会社別）になっている場合（職制、財務会計など）、年代別になっている場合（営業など）、および地域別になっている場合（海外事業、土地建物など）とがある。また若干の項目については、中分類、小分類を設けなかった。

7. 時代区分は、三菱の事業の発展に対応してつぎの3区分とした。

1) 明治3年～明治26年—この時代は創業時代、郵便汽船三菱会社、三菱社の時代であり、社誌では旧会社時代と呼称されている。

2) 明治27年～大正6年—この時代は、三菱合資会社設立から、事業部門が分系会社として独立し始めるまでの期間である。

3) 大正7年～昭和27年—この時代は、三菱造船、三菱鉱業、三菱商事、三菱銀行、三菱倉庫、三菱製鉄、三菱海上火災保険などの分系会社が順次営業を開始し、本社の持株会社としての機能が確立された時期である。本社の法人形態は昭和12年までが三菱合資会社であり、同年末株式会社三菱社が発足し、同18年には株式会社三菱本社と改称された。三菱本社は昭和21年10月に解散したが、清算事務が完了したのは昭和27年であったので、時代区分としてはこの年までをふくめた。

この時代区分は一般の歴史的時代区分とは異なっているが三菱史を通観するには便利である。

8. 中分類に会社名を用いているところでは、社名の排列は、原則としてそれぞれの会社の設立順とした。ただし相互に関連ある組織はまとめて排列した。たとえば、臨時製鉄所建設部と三菱製鉄株式会社はつづけて排列してあるし、また造船部、三菱造船、三菱内燃機製造、三菱航空機、三菱重工業の場合も同様である。

9. 人名索引には、原則として記事標題中に出現した人名を採録した。記事中および名簿などに掲載されている人名は膨大であり索引の対象にはしなかった。

10. 索引中の記事の副出は、重要事項のみに限った。したがって読者が特定の事項を検索する際には、関連事項についても参照することが望ましい。

11. 本索引は、一定の基準にしたがって年次別に排列された記事標題集であるので、それぞれの事項に関しては、年表が構成されている。ただし、本索引を年表的に使用する場合にはつぎのことに留意していただきたい。すなわち、三菱社誌は本来公開を前提とせずに作成された社内用業務録集であったので、当時他に参照の手段があった事項については、記述が省略されている場合があった。また社誌の編集方針は時代によって多少異なっていたので、採録された事項にも精粗があった。したがって事項によっては、年表としてみた場合、若干の欠落があることがある。この点に注意すれば、索引は各分類項目について年表として利用できる。

大分類 → **13. 営業**

中分類	2) 三菱合資会社売炭部および営業部	巻号	ページ数
年代	(明治)		
	石炭供給難 (27.1.11)	19	5
	売炭代理店委託 (27.2.26)	19	8
	「トリップ」ニ代理店委託 (27.3.1)	19	9
	石炭売約取消 (27.3.17)	19	10
	長崎支店扱炭手数料 (27.5.10)	19	16
	尾去沢外産銅海外輸出 (27.5.28)	19	18
	朝鮮事件切迫ニ付売炭注意 (27.7.11)	19	20
	下之関石炭会議 (27.7.24)	19	21

↑ ↑ ↑
 年 月 日

目 次

1. 社長・岩崎家	1	20) 日本タール工業株式会社, 日本化成工業株式会社および三菱化成工業株式会社	23
1) 初代社長(岩崎弥太郎)	1	21) 三菱化工機株式会社	24
2) 2代社長(岩崎弥之助)	1	22) 三菱地所株式会社	24
3) 3代社長(岩崎久弥)	1	23) 三菱鋼材株式会社および三菱製鋼株式会社	25
4) 4代社長(岩崎小弥太)	2	24) 三菱製紙株式会社	25
5) 岩崎家	3	25) その他	25
6) その他	4		
2. 組織・職制	5	3. 制度・規則・通知	26
1) 創業時代・郵便汽船三菱会社および三菱社	5	1) 方 針	26
2) 三菱合資会社・株式会社三菱社および三菱本社	6	a) 創業時代(明治3年~26年)	26
3) 地所部	8	b) 合資会社時代(明治27年~大正6年)	26
4) 売炭部・営業部	8	c) 分系会社設立以降(大正7年~昭和27年)	26
5) 鉱山部・炭坑部	9	2) 制 度	27
6) 三菱為替店・第百十九国立銀行および銀行部	10	a) 創業時代(明治3年~26年)	27
7) 臨時製鉄所建設部および三菱製鉄株式会社	10	b) 合資会社時代(明治27年~大正6年)	28
8) 造船部	11	c) 分系会社設立以降(大正7年~昭和27年)	28
9) 三菱造船株式会社	12	3) 規 則	30
10) 三菱内燃機製造株式会社および三菱航空機株式会社	13	a) 創業時代(明治3年~26年)	30
11) 三菱重工業株式会社	13	b) 合資会社時代(明治27年~大正6年)	32
12) 三菱電機株式会社	15	c) 分系会社設立以降(大正7年~昭和27年)	34
13) 三菱商事株式会社	16	4) 通 知	37
14) 三菱鉱業株式会社	18	a) 創業時代(明治3年~26年)	37
15) 三菱倉庫株式会社	20	b) 合資会社時代(明治27年~大正6年)	38
16) 株式会社三菱銀行	21	c) 分系会社設立以降(大正7年~昭和27年)	40
17) 三菱海上火災保険株式会社および東京海上火災保険会社	22	5) その他	41
18) 三菱信託株式会社	22	a) 創業時代(明治3年~26年)	41
19) 三菱石油株式会社	23	b) 合資会社時代(明治27年~大正6年)	41
		c) 分系会社設立以降(大正7年~昭和27年)	42

4. 支店等の設置・改廃44

- 1) 創業時代・郵便汽船三菱会社
および三菱社44
- 2) 三菱合資会社45
- 3) 営業部45
- 4) 鉱山部・炭坑部45
- 5) 銀行部46
- 6) 臨時製鉄所建設部および三菱
製鉄株式会社46
- 7) 三菱内燃機製造、航空機およ
び重工業株式会社46
- 8) 三菱電機株式会社46
- 9) 三菱商事株式会社46
- 10) 三菱鉱業株式会社48
- 11) 三菱倉庫株式会社49
- 12) 株式会社三菱銀行49
- 13) 三菱海上火災保険株式会社50
- 14) 三菱信託株式会社50
- 15) その他50

5. 人事労務・福利厚生51

- 1) 人事労務一般51
 - a) 創業時代(明治3年～26年)51
 - b) 合資会社時代(明治27年～大正6年)51
 - c) 分系会社設立以降(大正7年～昭和
27年)54
- 2) 賃 金56
 - a) 創業時代(明治3年～26年)56
 - b) 合資会社時代(明治27年～大正6年)56
 - c) 分系会社設立以降(大正7年～昭和
27年)60
- 3) 福利・厚生63
 - a) 創業時代(明治3年～26年)63
 - b) 合資会社時代(明治27年～大正6年)63
 - c) 分系会社設立以降(大正7年～昭和
27年)65

- 4) 労働争議・労働組合67
- 5) 三菱倶楽部68
- 6) 養和会70
- 7) その他70
- 8) 人事統計71

6. 教育・訓練72

- 1) 学 校72
- 2) 社内教育72

7. 財務・会計74

- 1) 創業時代・郵便汽船三菱会社
および三菱社74
- 2) 三菱合資会社75
- 3) 株式会社三菱社および三菱本
社77
- 4) 売炭部・営業部77
- 5) 鉱山部・炭坑部78
- 6) 銀行部80
- 7) 地所部80
- 8) 臨時製鉄所建設部および三菱
製鉄株式会社80
- 9) 造船部81
- 10) 三菱造船株式会社82
- 11) 三菱内燃機製造株式会社82
- 12) 三菱重工業株式会社82
- 13) 三菱電機株式会社83
- 14) 三菱商事株式会社83
- 15) 三菱鉱業株式会社83
- 16) 三菱倉庫株式会社84
- 17) 三菱海上火災保険株式会社84
- 18) 株式会社三菱銀行84
- 19) 三菱石油株式会社85
- 20) 日本タール工業株式会社およ
び日本化成工業株式会社85
- 21) 三菱地所株式会社85

22) 三菱鋼材株式会社および三菱製鋼株式会社	85	3) 鉱山部・炭坑部(炭坑)	102
8. 損益・財務諸表	86	4) 鉱山部・炭坑部(鉱山)	104
1) 創業時代・郵便汽船三菱会社および三菱社	86	製煉所	107
2) 三菱合資会社	86	5) 地所部	107
3) 株式会社三菱社および三菱本社	89	6) 臨時製鉄所建設部および三菱製鉄株式会社	107
4) 売炭部・営業部	90	7) 造船部	108
5) 鉱山部・炭坑部	91	8) 三菱造船株式会社	109
6) 地所部	93	9) 三菱内燃機製造株式会社および三菱航空機株式会社	109
7) 営業部	93	10) 三菱重工業株式会社	110
8) 為換店及び銀行部	93	11) 三菱商事株式会社	110
9) 三菱製鉄株式会社	94	12) 三菱電機株式会社	110
10) 造船部	94	13) 三菱鉱業株式会社	110
11) 三菱造船株式会社	94	14) 三菱倉庫株式会社	111
12) 三菱内燃機製造株式会社および三菱航空機株式会社	95	15) 三菱石油株式会社	111
13) 三菱重工業株式会社	95	16) 日本化成工業株式会社および三菱化成工業株式会社(牧山骸炭製造所をふくむ)	111
14) 三菱電機株式会社	95	17) 三菱鋼材株式会社	111
15) 三菱商事株式会社	96	10. 研究開発・特許・調査	112
16) 三菱鉱業株式会社	97	11. 鉱 区	115
17) 三菱倉庫株式会社	98	1) 炭 坑	115
18) 株式会社三菱銀行	98	2) 鉱 山	118
19) 三菱海上火災保険株式会社	99	3) 石 油	122
20) 三菱信託株式会社	99	12. 船 舶	123
21) 三菱石油株式会社	100	1) 購入・受託	123
22) 日本化成工業株式会社および三菱化成工業株式会社	101	2) 新造・修理	124
23) 三菱地所株式会社	101	3) 売却・貸付	126
24) 三菱鋼材株式会社および三菱製鋼株式会社	101	4) 艦 艇	127
9. 生産・設備・資材	102	5) 船長人事	127
1) 三菱合資会社	102	6) 航路・輸送	128
2) 営業部	102		

13. 営 業131

- 1) 創業時代・郵便汽船三菱会社
および三菱社時代(明治3年～
26年)131
- 2) 三菱合資会社売炭部・営業部
時代(明治27年～大正6年)131
- 3) 分系会社設立以降(大正7年～
昭和27年)136

14. 海外事業138

- 1) 朝 鮮138
- 2) 台 湾140
- 3) 中 国141
- 4) サハリン149
- 5) 沿海州・シベリア152
- 6) インドシナ153
- 7) 東南アジア153
- 8) その他アジア156
- 9) オセアニア156
- 10) 北アメリカ157
- 11) ラテン・アメリカ157
- 12) ヨーロッパ158
- 13) アフリカ159

15. 国際情勢160

16. 業界動向161

17. 広告宣伝162

18. 土地・建物163

- 1) 北海道163
- 2) 東 北163
- 3) 関 東164
- 4) 東 京165
- 5) 中 部166
- 6) 近 畿167

7) 大阪・神戸168

8) 中 国169

9) 四 国170

10) 九 州170

11) 北九州(門司・小倉・八幡・
戸畑・若松)172

12) 長 崎174

13) その他一般175

19. 地所・不動産事業176

20. 農 事179

1) 新 潟179

2) 児島湾181

3) 黒崎・折尾181

4) 小岩井181

5) 東山農事181

21. 関連事業182

1) 三菱製紙所および三菱製紙株
式会社182

2) 東京倉庫会社182

3) オクムラ・クボタ・カンパニ
ー182

4) 菱華倉庫182

5) 東京工業化学試験所182

6) 美唄鉄道会社183

7) 雄別炭鉱株式会社183

8) 大夕張炭坑会社183

9) その他炭坑183

10) 大源鉱業183

11) 鉱山関係183

12) 商事関係184

13) 漁業関係184

14) 運輸関係184

15) 電機関係184

16) 航空機関係184

17) 化学関係	185	2) 三菱合資会社	214
18) 外地関係	185	3) 株式会社三菱社および三菱本 社	216
19) その他	185	4) 第百十九国立銀行	217
22. 保 険	186	5) 三菱製紙株式会社	217
23. 公害・災害	187	6) 三菱製鉄株式会社	217
1) 炭 坑	187	7) 三菱造船株式会社	218
2) 鉱 山	189	8) 三菱内燃機製造株式会社	219
3) 農 地	191	9) 三菱航空機株式会社	220
4) 工 場	192	10) 三菱重工業株式会社	220
5) 船 舶	192	11) 三菱電機株式会社	221
6) その他施設	193	12) 三菱商事株式会社	222
7) 一般災害	194	13) 三菱鉱業株式会社	223
24. 訴 訟	195	14) 三菱倉庫株式会社	224
25. 一般社会との関係・寄附	196	15) 株式会社三菱銀行	225
1) 創業時代	196	16) 三菱海上火災保険株式会社	226
2) 炭 坑	196	17) 三菱信託株式会社	227
3) 鉱 山	197	18) 三菱石油株式会社	227
4) 農 地	198	19) 日本化成工業株式会社および 三菱化成工業株式会社	228
5) 工 場	199	20) 三菱地所株式会社	228
6) その他施設	199	21) 三菱鋼材株式会社および三菱 製鋼株式会社	228
7) 一般寄附	200	22) 美唄鉄道株式会社	229
8) 選 挙	201	23) 飯塚鉱業株式会社	229
26. 政府との関係	202	24) 雄別炭鉱鉄道株式会社	229
27. 戦 争	205	25) 内幌炭鉱鉄道株式会社	229
28. 財閥解体	209	26) 菱美電機商会	229
29. その他	210	27) 菱華倉庫株式会社	230
30. 名 簿	214	28) その他	230
1) 創業時代・郵便汽船三菱会社 および三菱社	214	31. 人名索引	231

索引

1. 社長・岩崎家

1) 初代社長 (岩崎弥太郎)

(明治)

社長先考 1 週祭 (7.9.5)	1	255
初代社長不勝副社長社務総撰 (7.9.21)	1	267
太平洋汽船会社ト競争ニ際シ社員戒飭 (8.5.是月)	2	97
彼阿汽船会社ト競争ニ際シ社員戒飭 (9.3.是月)	3	137
初代社長副社長管事減俸竝ニ冗員淘汰 (9.4.)	3	142
初代社長副社長東京会議所議員当選 (9.6.21)	3	236
社長告諭書 (9.8月)	3	359
恩賜金品拝受 (10.8.8)	4	337
初代社長天長節夜会参列 (10.11.3)	4	461
社長告諭 (11.4.15)	6	389
社長叙勲祝宴ノ件 (11.7.8)	6	488
社長叙勲慶祝ノ件 (11.7.30)	6	511
初代社長不勝副社長社務総撰 (11.9.17)	6	613
初代社長不勝管事社務総撰 (12.2.21)	7	65
初代社長平癒社務執掌 (12.3.20)	7	155
初代社長不勝熱海ニ療養 (14.3.22)	9	54
初代社長不勝伊香保ニ療養 (14.8.22)	9	270
初代社長転居 (15.8.5)	10	375
初代社長叙位 (18.2.6)	13	27
初代社長卒去 (18.2.7)	13	29
初代社長遺志奉体社業励精ノ件 (18.2.9)	13	30
初代社長葬儀 (18.2.13)	13	39
初代社長 5 年祭 (22.2.7)	16	130
大阪長堀邸ニテ故社長10年祭執行 (28.2.7)	19	66

2) 2 代社長 (岩崎弥之助)

(明治)

副社長婚儀 (7.11.17)	1	299
東京丸上海初航副社長便乗 (8.2.8)	2	404
副社長補給 (11.11.11)	6	661
副社長宣言 (11.12.27)	6	701
副社長各支社巡視ノ件 (12.2.12)	7	64
社長故社長遺業完成宣言 (18.2.18)	13	45
2 代社長恩賜品拝受 (18.8.29)	13	367
2 代社長叙位叙勲 (18.10.31)	14	437
2 代社長及嫡嗣岩崎久弥叙位 (20.9.29)	15	63
2 代社長東京市参事会員当選 (22.6.12)	16	271
2 代社長転籍 (22.7.16)	16	298
2 代社長貴族院議員任命 (23.9.29)	17	205

岩崎弥之助叙勲 (31.7.20)	19	275
岩崎弥之助巡視 (31.12.5)	19	288
監務巡視 (32.3.29)	20	321
監務巡視 (32.7.1)	20	336
監務欧米漫遊 (35.2.13)	20	557
監務外遊上途 (35.3.8)	20	562
監務帰朝 (35.10.20)	20	589
監務岩崎弥之助薨去 (41.3.25)	21	1063
樹徳院殿 1 週忌法要 (42.3.25)	21	1152

(大正)

樹徳院殿追慕記念碑 (2.7.1)	22	1745
樹徳院殿 7 週忌法会 (3.3.25)	23	2056
樹徳院殿追善 (13.8.29)	33	6600

3) 3 代社長 (岩崎久弥)

(明治)

嫡嗣岩崎久弥相統 (18.2.17)	13	43
嫡嗣岩崎久弥転籍 (22.6.24)	16	284
副社長任命ノ件 (24.11.10)	17	206
社長及監務就任	19	1
社長移転 (27.3.19)	19	11
駒込邸園遊会 (27.4.3)	19	13
社長出張 (27.5.9)	19	16
社長九州旅行 (28.4.20)	19	73
社長出張 (28.10.15)	19	83
両御邸叙爵 (29.6.9)	19	115
社長旅行 (29.7)	19	117
社長転居 (29.8.25)	19	119
社長出張 (30.4.27)	19	170
社長出張 (30.7.13)	19	190
社長出張一時中止 (30.8.9)	19	196
社長東北地方出張 (30.8.13)	19	197
社長佐渡新潟出張 (30.10.17)	19	213
社長出張 (31.1.26)	19	257
社長出張 (31.4.12)	19	262
社長出張 (31.6.27)	19	272
社長出張 (32.2.9)	20	314
社長出張 (32.5.2)	20	328
社長出張 (32.7.21)	20	341
社長転住 (32.11.1)	20	356
社長出張 (33.5.14)	20	409
社長出張 (33.7.20)	20	419
社長出張 (33.10.10)	20	434
社長出張 (34.2.17)	20	478
社長欧米漫遊 (34.6.14)	20	496
社長英国ニ到着 (34.7.29)	20	504
社長海外ヨリ帰着 (34.11.18)	20	516

社長出張 (35.4.8)	20	567	美唄炭坑二両社長写真外送付 (4.12.23)	24	2679
社長出張 (35.8.11)	20	581	社長長崎外出張 (5.1.20)	25	2846
社長出張 (36.1.26)	20	622	社長四代出張 (5.2.25)	25	2908
社長外遊中社務代行 (36.8.6)	20	649	両社長写真送付 (5.3.17)	25	2933
社長海外出張 (36.8.16)	20	650	社長長崎外出張 (5.4.8)	25	2967
社長帰朝 (36.11.16)	20	657	社長京都出張 (5.5.3)	25	2991
社長陞叙 (36.12.11)	20	660	社長更迭 (5.7.1)	25	3055
社長叙勲 (37.4.18)	20	703	茅町主人長崎出張 (5.8.7)	25	3112
社長出張 (37.7.7)	20	714	岩崎久弥辞任 (8.12.9)	30	4994
監務及社長写真配付 (37.11.1)	20	733	業務担当社員辞任 (9.3.31)	30	5176
社長出張 (38.2.26)	20	774	前社長陞叙 (13.5.31)	33	6576
社長出張 (38.10.23)	20	819	前社長陞叙 (14.9.1)	34	6920
凱旋艦隊将卒招待園遊会 (38.10.29)	20	820	(昭和)		
監務及社長叙勲 (39.4.1)	21	873	岩崎久弥紺綬褒章飾版ヲ賜ハル (2.5.6)	35	31
社長出張 (39.6.4)	21	881	岩崎久弥陞叙 (11.9.15)	37	1158
社長支那漫遊 (39.10.5)	21	903			
社長出張 (40.3.26)	21	967	4) 4代社長 (岩崎小弥太)		
社長朝鮮出張 (40.5.10)	21	975	(明治)		
社長出張 (40.7.24)	21	994	副社長就任 (39.5.14)	21	879
社長出張 (40.12.8)	21	1015	副社長出張 (39.7.25)	21	891
社員出資金変更 (41.3.30)	21	1065	副社長出張 (40.1.12)	21	947
社長出張 (41.6.5)	21	1079	岩崎小弥太入社並会社契約書改定 (40.2.16)	21	958
社長出張 (41.11.17)	21	1106	副社長襲爵 (41.5.28)	21	1077
社長病氣 (42.8.2)	21	1171	副社長陞叙 (41.6.10)	21	1079
社長出張 (43.7.27)	21	1248	副社長出張 (41.8.14)	21	1088
社長長崎出張 (44.1.16)	21	1303	副社長高輪ニ移転 (41.11.5)	21	1105
社長長崎出張 (44.5.12)	21	1324	副社長写真配付 (42.12.21)	21	1194
社長長崎出張 (44.8.6)	21	1339	副社長旅行 (43.6.20)	21	1244
社長長崎出張 (44.9.28)	21	1346	副社長長崎出張 (43.8.20)	21	1252
(大正)			副社長大阪出張 (44.1.23)	21	1304
社長長崎出張 (1.3.16)	22	1446	副社長出張 (44.6.12)	21	1331
社長出張 (1.6.18)	22	1475	(大正)		
社長長崎出張 (1.11.1)	22	1511	副社長出張 (1.6.5)	22	1474
社長陞叙 (1.12.20)	22	1535	副社長東北北海道出張 (1.10.12)	22	1505
社長関西九州地方出張 (2.1.23)	22	1623	副社長関西出張 (2.1.14)	22	1616
高根鉦山二両社長写真其他送付 (2.11.19)	22	1834	副社長高取鉦山へ出張 (2.2.27)	22	1657
社長長崎出張 (2.11.26)	22	1841	副社長関西出張 (2.4.18)	22	1699
社長関西出張 (2.12.13)	22	1872	副社長関西九州出張 (2.6.12)	22	1729
社長長崎出張 (3.7.19)	23	2158	副社長北海道出張 (3.2.12)	23	2026
社長猪苗代出張 (3.10.10)	23	2226	副社長朝鮮出張 (3.5.8)	23	2098
奥山鉦山二社長写真外送附 (3.12.10)	23	2265	副社長関西出張 (3.10.21)	23	2230
社長方城炭坑出張 (3.12.17)	23	2281	副社長九州出張 (4.2.15)	24	2436
社長彦島造船所視察 (3.12.21)	23	2282	副社長関西出張 (5.2.16)	25	2899
社長長崎出張 (4.1.18)	24	2419	副社長奥山鉦山出張 (5.5.29)	25	3019
金山支山二両社長写真送付 (4.3.29)	24	2470	社長御更迭 (5.6.30)	25	3052
社長長崎出張 (4.4.20)	24	2485	社長更迭ニ付挨拶 (5.7.1)	25	3055
両社長写真送付 (4.6.16)	24	2529	社長御写真送付 (5.8.10)	25	3118
社長朝鮮出張 (4.10.3)	24	2603			

漢口支店ニ社長御写真送付 (5.11.15)	26	3233	重工業会社創設趣意通知 (9.4.10)	36	884
社長御写真送付 (5.12.5)	26	3284	御大典奉祝屏風献納 (昭和10年は歳)	37	1044
社長長崎出張 (6.1.23)	27	3596	三菱社社長共他選任 (12.10.12)	37	1307
社長長崎出張 (6.4.12)	27	3693	社長及副社長報酬 (13.2.22)	37	1408
社長大阪出張 (6.5.6)	27	3746	時局ニ関シ社長諭示 (14.12.29)	38	1564
社長大阪直島外出張 (6.6.10)	27	3791	財務、査業兩委員会ノ運用ニ関シ社長演述 (15.8.30)	38	1669
社長九州出張 (6.9.19)	28	3936	技術連絡会議ニ於テ社長演述 (16.7.14)	38	1798
油戸炭坑ニ社長御写真送付 (7.4.21)	29	4455	三菱協議会ニ於テ社長訓話 (16.12.10)	38	1830
北京出張所其他へ社長御写真送付 (7.5.23)	29	4490	岩崎小弥太陸叙 (17.8.1)	38	1947
社長兼二浦出張 (7.6.26)	29	4499	社長参内拝謁 (17.12.15)	38	1972
時局ニ関 参事以上ニ訓諭 (8.4.23)	30	4861	隨時隨題上梓是歳 (昭和17年)	38	1982
社長横浜正金銀行員ノ為寄附 (9.2.13)	30	5142	三綱領及三菱養和会教条制定ニ関シ告示 (18.2.8)		
鉱業会社株式公開ニ関シ告辞 (9.2月)	30	5165	政治不干与ニ関シ告示 (18.8.5)	39	2116
「シアトル」出張所ニ社長御写真送付 (9.4.21)	30	5184	労務調整ニ関シ社長説示 (18.10.5)	39	2129
社長満鮮支出張 (10.5.20)	31	5537	新年言志 (19.1.1)	39	2225
社長竝茅町主人御写真送付 (11.1.6)	31	5775	化成工業会社始業ニ際シ告示 (19.4.1)	39	2253
社長丸ノ内「ビルヂング」検分 (12.2.28)	32	6106	新年ニ際シ社長告示 (20.1.1)	40	2399
社長竝茅町主人御写真送付 (12.5.23)	32	6156	社長告示 (20.4.21)	40	2423
社長陸叙 (12.6.4)	32	6166	社長東海、関西地方出張 (20.5.18)	40	2429
社長御動静 (13.4.30)	33	6567	社長告辞 (20.11.1)	40	2484
社長住所移転 (13.6.10)	33	6579	社長病氣入院 (20.10.29)	40	2488
社長感謝状受領 (13.8.6)	33	6596	岩崎小弥太逝去 (20.12.2)	40	2518
社長御動静 (14.3.23)	34	6852	威徳院殿 7 回忌法要執行 (26.11.2)	40	2757
社長白耳義国叙勲御辞退 (15.10.29)	34	7229			

(昭和)

5) 岩崎家

社長九州へ出張 (2.5.18)	35	32			
岩崎小弥太紺綬褒章飾版ヲ賜ハル (2.5.23)	35	33	(明治)		
社長内燃機会社名古屋製作所へ出張 (2.11.18)	35	49	副社長々女出生 (8.8.27)	2	187
天皇陛下内燃機会社名古屋製作所へ行幸 (2.11.20)	35	49	養子郷昌作改名 (9.7.是月)	3	318
社長動静 (3.1.6)	35	123	(大正)		
社長動静 (3.2.22)	35	127	岩崎家庭事務所新設 (5.9.30)	25	3171
社長動静 (3.3.27)	35	131	茅町主人嫡男支那漫遊 (6.5.8)	27	3750
社長動静 (3.4.22)	35	135	茅町主人嫡男英国留学 (11.10.3)	31	5902
岩崎小弥太叙勲 (3.11.10)	35	157	茅町邸御後室逝去 (12.4.8)	32	6140
社長動静 (4.1.8)	35	237	慈照院殿 3 周年法会 (14.4.8)	34	6870
岩崎小弥太東京海上保険会社取締役就任其他 (4.4.22)	35	249	岩崎彦弥太帰朝 (15.2.28)	34	7120
社長動静 (4.5.15)	35	250	岩崎彦弥太入社 (15.3.24)	34	7126
社長動静 (4.9.14)	35	273	(昭和)		
社長動静 (4.10.22)	35	274	岩崎彦弥太移転 (3.5.19)	35	136
社長住所移転 (4.11.10)	35	276	高輪邸御後室逝去 (4.2.23)	35	240
社長動静 (4.11.21)	35	284	慈光院殿法要 (4.3.29)	35	244
社長動静 (5.4.1)	35	386	岩崎俊弥死去 (5.10.16)	35	411
社長動静 (5.5.2)	35	387	岩崎彦弥太副社長就任 (9.4.1)	36	884
岩崎小弥太陸叙 (7.7.15)	36	668	岩崎彦弥太陸叙 (16.10.15)	38	1823
大正 9 年 5 月商事場所長会議挨拶	36	775	岩崎 11 家財閥家族指定 (22.3.13)	40	2710
			指定者岩崎 11 家有価証券引渡 (22.7.29)	40	2716

6) その他

(明治)

高知家用係廃止 (8.8.24)	2	183
故「マクス・ミュラー」博士蔵書購入寄贈 (34.11.7)	20	513
高輪邸牡丹観覧 (42.5.2)	21	1157
高輪邸牡丹観覧 (44.4.30)	21	1320

(大正)

高輪邸牡丹観覧 (1.4.28)	22	1462
高輪邸牡丹観覧 (2.5.4)	22	1706
箱根別邸用「ボート」出来 (2.9.12)	22	1790
高輪邸牡丹観覧 (3.4.19)	23	2081
高輪御邸牡丹観覧 (4.4.19)	24	2482
高輪御邸牡丹観覧 (6.4.14)	27	3697
茅町邸用京都地所買収 (6.7.19)	27	3860
深川御別邸管理 (9.6.10)	30	5221
大阪西長堀旧御別邸管理ノ件 (9.10.20)	30	5260
深川御別邸開放ノ件 (10.1.25)	31	5488
深川御別邸外園工事追加予算認許 (10.5.10)	31	5530
大阪西長堀旧御別邸外社有地開放問題 (10.8.27)	31	5570
大阪西長堀旧御邸修理 (12.1.17)	32	6100
多摩川靖嘉堂竣成 (13.4)	33	6567
駿河台御邸跡買受決議 (13.9.17)	33	6603
駿河台御邸跡煉瓦塀其他取毀 (13.11.11)	33	6620
駿河台御邸跡譲受 (13.12.24)	33	6640
駿河台御邸跡整理工事竣工 (14.4.15)	34	6871
品川ハツ山御邸再築ニ係ル件 (15.4.1)	34	7133

(昭和)

駿河台地所所有権移転登記完了 (2.4.14)	35	27
駿河台紅梅河岸借用換出願 (2.8.11)	35	44
万国工業会議出席委員招待 (4.11.1)	35	276
高輪邸所管替 (8.8.1)	36	783
大阪西長堀旧邸跡売却 (9.10.13)	36	918
赤十字国際会議参列委員招待 (9.10.23)	36	918
高輪邸譲受 (13.2.22)	37	1408
高輪邸改称 (13.10.4)	37	1444
開東閣由来上梓 (17.12.16)	38	1973
箱根別邸地ヲ成蹊学園ニ寄贈 (17)	38	1982
開東閣表門国宝指定 (19.9.5)	39	2291
開東閣空襲被害 (20.5.24)	40	2431
社長邸焼失 (20.5.25)	40	2431

2. 組織・職制

1) 創業時代・郵便汽船三菱会社および三菱社

(明治)

土佐開成商社創立(3.10.9)	1	1	用度方廃止、用度係設置、倉庫係ヲ横浜支社ニ、石炭勘定係ヲ会計方ニ併合(11.12.25)	6	697
九十九商会ト改称(3.10.18)	1	2	臨時改正局設置(12.1.29)	7	24
三川商会ト改称(5.1.是月)	1	51	庶務係設置(12.2.1)	7	61
三菱商会ト改称(6.3.是月)	1	100	受付ヲ庶務係ニ併合(12.3.2)	7	109
東京支店ヲ本店ニ、大阪本店ヲ支店ニ変更(7.4.1)	1	190	吉岡鉱山及大阪薪炭店管轄変更(12.3.7)	7	113
本店移転(7.4.1)	1	190	荷為替法制定(12.8.10)	7	368
吉岡鉱山制規改定(7.8.是月)	1	245	新潟支社荷為替業務兼掌(12.11.1)	7	501
本店名義人変更(7.10.5)	1	275	大阪薪炭店閉鎖(13.8.18)	8	434
三菱汽船会社ト改称(8.5.1)	2	37	千川水道会社創立(13.8.25)	8	449
社則創定社制改革(8.5.1)	2	37	製鉄所移転(13.11.30)	8	567
郵便汽船三菱会社ト改称(8.9.18)	2	223	高島炭坑職制改定(15.2.是月)	10	224
梅園店開設(8.10.29)	2	347	庶務係廃止(15.3.11)	10	232
各支社諸係設置(8.12.16)	2	431	吉岡鉱山事業細目釐定(15.9.14)	10	403
横浜造船器械所購入、三菱製鉄所ト命名(8.12.31)	2	485	職制改革職務章程釐定(15.9.22)	10	409
臨時改正局設置(9.2.25)	3	68	高島炭坑職制改定(15.11.27)	10	481
庶務課設置(9.3.16)	3	104	高知支社為替業務兼掌(17.5.2)	12	100
本社荷捌所設置(9.4.7)	3	152	造船局借入、長崎造船所ト命名(17.6.23)	12	142
大阪東京間荷為替法制定(9.6.20)	3	219	為替事業廃止ノ件(17.11.是月)	12	364
運用課ヲ東京支社ト改称(9.7.26)	3	311	野蒜支社為替業務閉鎖(18.4.18)	13	151
用度局設置(9.8.4)	3	321	第一百十九国立銀行経営(18.5.28)	13	165
支社長會議創開(9.8.30)	3	354	大阪支店為替業務閉鎖(18.是夏)	13	376
梅園店閉鎖(9.9.6)	3	370	共同運輸会社ト併合予告(18.9.15)	13	385
東京支社諸係設置(9.12.18)	3	577	海運業閉鎖日本郵船会社ニ事務移転(18.9.30)	14	393
運用局設置(9.12.25)	3	597	傭員500余名日本郵船会社ニ転任(18.10.是月)	14	440
庶務課職務係設置(10.1.17)	4	14	神戸横浜大阪函館上海代理店設置(18.10.是月)	14	440
書記課ヲ庶務課ニ併合(10.2.9)	4	39	三菱社ト改称(19.3.29)	15	27
会計局制度改革(10.8.1)	4	313	吉岡鉱山職制改定(19.5.25)	15	58
庶務課記録係設置(10.9.7)	4	392	本社移転(19.7.19)	15	164
用度局出張所夜警設備(10.10.13)	4	443	本社移転(20.4.18)	15	12
貢米検査二局設置(11.2.25)	5	222	吉岡鉱山職制々定(20.4.20)	15	13
東京支社ヲ東京店ト改称(11.3.7)	5	299	長崎造船所払下(20.6.7)	15	21
諸局課廃止ナド会計方用度方廻来方検査役書記役雑務係設置(11.3.7)	5	299	吉岡鉱山管下諸鉱山分離独立(22.1.15)	16	1
支社事務長ヲ支配人ト改称(11.3.7)	5	302	尾去沢鉱山職制々定(21.1.21)	16	1
各船事務長ヲ取締役ト改称(11.3.7)	5	302	小真木鉱山職制々定(21.11.10)	16	216
内方元締役設置(11.3.22)	5	353	長崎ニ管事駐在ノ件(21.11.26)	16	222
為替法制定(11.7.1)	6	458	高島炭坑長崎事務所ヲ三菱炭坑事務所、長崎造船所ヲ三菱造船所ト改称(21.12.1)	16	226
地所係設置(11.7.2)	6	466	芦屋若松出張所ヲ芦屋三菱炭坑出張所ト改称(22.12.3)	16	390
営繕方設置(11.8.31)	6	587	面谷鉱山職制々定(23.7.是月)	17	93
雑務係廃止(11.9.5)	6	595	大阪支店銀行業務兼掌(24.1.1)	17	1
			吉岡鉱山職制改定(24.5.1)	17	71
			下関三菱炭坑出張所開設(23.11.1)	17	206
			直方及芦屋炭坑事務所移転、芦屋三菱炭坑出張所ヲ若松三菱炭坑出張所ト改称(24.11.25)	17	208